

防災ワークショップ in 益田

想定外の自然災害を想像して、その時！どうする

経験したことのない大雨
その時！いつ、どこに逃げますか？



Disaster

昨年の8月、広島市で大規模な土砂災害が起こりました。いつ何時、想定外の災害に見舞われるか分かりません。『もしも』の時に「どうするのか？」「どこに避難すればいいのか？」日頃から防災に対する意識を高めることが求められています。

今回は山口県防府市で地域防災活動の支援を行っているNPO 法人ぼうぼうネットの方々をお迎えし、災害が起きる可能性が高くなった時の「備え」について、ご指南して頂くことにしています。多くの方の参加お待ちしております。

防災ワークショップ [プログラム]

1. 講演 地域の魅力発信「日本一の清流高津川と河川防災」
講師 国土交通省浜田河川国道事務所 河川管理課
建設専門官 細田 佳男
2. 講義
災害のおはなし「想定を超える災害を想像する」
講師 特定非営利活動法人 ぼうぼうネット
常務理事 山崎 隆弘
3. 防災WS [災害図上訓練 DIG]
▶ 指導 NPO 法人ぼうぼうネット：テーブルコーディネーター
基本編：地図を使って、地域の災害感を共有し、自らの命を守る自助について、考える。
対応編：その時！どうする？災害を想定して、地域・組織・ボランティアの共助について、考える。
4. 防災WS [テーマ別分科会：海・川・山・街]
想像を超える自然災害に備えるために「その時！どうする」をテーマにテーブルを囲んで合意形成作業を行う。
5. 防災WS [プレゼンテーション]
テーマ別分科会で抽出した「備えあれば憂いなし」についてプレゼンを行い、フリーディスカッションで「防災活動」のヒントを抽出する。
[終了]

NPO法人ぼうぼうネット 2004年

山口大学瀧本浩一准教授と連携して、地域防災活動を支援する中間支援組織である防府／防災ネットワーク推進会議を立ち上げ、地域住民参加の発災対応型（シナリオなき）訓練の企画・実行の支援を行う。

2009年11月にNPO法人ぼうぼうネットを設立。現在は、北は青森、南は沖縄を飛び回って、自主防災組織の活動支援、避難要配慮者（高齢者・障害者・幼児）の避難対応のすすめ方、小・中学生の防災学習など、「その時どうする！避難」をコンセプトに地域が中心となって防災を取組む「地域コミュニティ防災」の活動をサポートしている。[会員30名]

開催日時 平成27年4月29日(水)
10:00~15:30 (9:30 受付開始)
会場 ホテルサンパレス益田



概要 防災ワークショップ in 益田

開催日時 平成27年4月29日(水)

10:00~15:30

会場 ホテルサンパレス益田

益田市高津町イ 2355-12

TEL 0856-23-3800



■ ワークショップ コンセプト

災害を想定し、そのとき自分に何ができるか、何をしなければならないか、考えてもらう場にし、また防災について幅広く学んでもらい将来に役立ててもらおう。

■ 募集内容

- ・対象 地区内高校生
- ・定員 40名

■ テーマ別分科会のイメージ

海
川
山
街

住んでいる地域の環境からグループを選択

想定を超える自然災害を想像して「その時」どうするか？を考えてみる。

自然災害
天変地異

避難

備え

防災観を探求

災害図上訓練[DIG]

Disaster (災害)

Imagination (想像力)

Game (ゲーム)

□ 避難勧告等の判断・伝達マニュアル (H26全面見直し) 主な変更点 (避難に関する考え方)

- 「避難」は、災害から命を守るための行動であることをあらためて定義した。
- 従来の避難所への避難だけでなく、家屋内に留まって安全を確保することも「避難行動」の一つとした。
→ 「立ち退き避難」と「屋内安全確保」
- 災害種別毎に、命を脅かす危険性がある事象、立ち退き避難が必要な区域の考え方を示した。
- 市町村が発令する避難勧告等は、空振りをおそれず、早めに出すことを基本とした。
→ 避難が必要な状況が夜間・早朝となる場合に「避難準備情報」を発令。

命を守る行動

こあんしき 居安思危

居安思危
突きに備りて危きを思ふ
思則有備
思はずすなわち備えあり
有備無患
備えあれば患い無し

地域コミュニティ防災活動
安心安全まちづくり

出典：春秋左氏傳(春秋左氏傳) 孔子の編纂と伝えられる歴史書『春秋』の代表的な注釈書の1つ。